(様式)

総合工学委員会分科会の設置について

分科会等名：エネルギーと科学技術に関する分科会

1	所属委員会名	総合工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	世界の国と経済の発展に伴い、今後25年間に、世界の一次エネルギー需要は60パーセント近く増加するであろうと推定されている。この先世界のエネルギー需要の85%が化石燃料によってまかなわれると予測され、未来にわたって大気中の温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、対流圏オゾン、亜酸化窒素など）濃度の大幅な上昇を引き起こす。 温室効果ガスの濃度を安定させるとともに、費用対効果の高いと考えられるエネルギー源のいくつかの提案の中から選択肢を広く導入する必要がある。このための戦略立案や実施には、様々な分野、すなわち自然科学、工学技術、社会科学、医学、人文科学、政府、実業界、経済界などの専門家による幅広い協力と俯瞰的な視野と知恵が必要である。中でも学術的視点からの議論はきわめて重要である。 20期日本学術会議 エネルギーと科学技術分科会においては、イノベーションと環境・エネルギーほか幾つかの個別テーマについて掘り下げ記録としてまとめた。21期においては、別に設置される予定のエネルギーと人間社会に関する分科会などとも連携をとりながら、科学的あるいは技術的な面に重点をおいてさらに議論を展開させ複数の提言、報告などをとりまとめる。
4	審議事項	主として下記の課題について広く議論をおこなう。すなわち20期分科会で明らかとなった問題点を抽出・分析し、提言や報告のとりまとめを行う。 ・ エネルギー供給・利用 ・ 省エネルギー ・ エネルギー貯蔵・輸送 ・ CO₂対策 ・ その他関連する諸問題 設定された課題の分析を深めるために、小委員会を別途設置する。
5	設置期間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 常設
6	備考	